



桑名の礎を築いた
本多 忠勝

桑名藩の初代藩主は、徳川家康の天下取りを支えた腹心、本多忠勝です。生涯 50 回を超える戦で一度も傷を負わなかった武闘派として歴史ファンの人気が高い戦国武将ですが、実は桑名を湊町・城下町・宿場町の三機能を併せ持つ町に作り替えた、有能な政治家でもあったのです。

関ヶ原の戦い後、本多忠勝は4年がかりの大規模な区画整理を行いました。この時の区画が現在の市街地の原型になっており、今も町名に鍛冶町、魚町などの名残が見られます。また、桑名の鎗物産業は、忠勝が鉄砲の製造を命じて鍛冶屋を集めたことに始まったと言われています。



十念寺【七福神まつり】 

七福神まつりは、十念寺創建以来明治初年まで庶民を集めて盛大に行われていましたが、戦争で中断しました。昭和四十三年、善光寺一条宮光上人御親裁の大法要を期し、再び復活し、技芸成就・商売繁昌・無病息災・良縁成就を願って、十一月二十三日には東京、大阪、県内各地から信仰者の参詣がありません。ぜひお参り下さい。

